

南水研発リカレント教育プログラム

愛媛大学水産人材育成講座

— 応用編・水産業と地域活性化 —

2025 年度受講者募集要項

愛媛大学南予水産研究センター

1. プログラムの目的

愛媛県は、全国第3位の漁業・養殖業産出額を誇る水産県であり、水産業は南予地域の基幹産業として、地域経済に大きく貢献しています。しかし、近年、我が国では水産資源の減少による漁獲量の長期的な減少、漁業就業者の減少・高齢化、水産物消費の減少と魚離れ、魚価の低迷など、水産業を取り巻く状況は一段と厳しく、地域経済への影響が懸念されています。一方で、海外では水産物の消費が増大し、世界の水産物貿易も増加するなど、水産業はこれからの成長産業として注目されています。

このような国内外の状況を踏まえると、我が国の水産業にイノベーションを起こせるような人材の育成と、それらの人材を通じた地域創成が求められるところであります。このため、本県における水産業の重要性に鑑み、さらに社会人の学び直しニーズにも応えられるよう、昨年度の「基礎編・水産学概論」に引き続き、今回改めて「応用編・水産業と地域活性化」を開講します。

2. 募集人数

30名程度

※ 募集人数を大幅に超えて応募があった場合は、抽選によって受講者を決定させていただきます。

3. 受講資格

漁業者、水産業者、漁協等職員、自治体等職員

商工業者、農林業者、農協等職員、金融関係者、高校生

その他、水産の資源活用、地域振興、産業創出等について学ぶ意欲のある者

※ 水産企業や団体の新入社員等の従業員育成にもご活用ください。

※ 水産業に興味のある高校生の高大接続にもご活用ください。

※ 講義には、愛媛大学社会共創学部の学生が参加することもあります。

4. プログラムの内容

(1) 講座の構成

「愛媛大学水産人材育成講座」は、毎年度後半に開催する「基礎編」と毎年度前半に開催する「応用編」によって構成されています。「基礎編」は、水産学のほぼ全分野にわたる基礎的内容で、毎年ほぼ同じ講義を行います。「応用編」では、宇和海の水産業にイノベーションを起こすこと、水産業を中心として地域を活性化すること、などを考える講座を、毎年内容を一部更新しながら開催します。

今回は「応用編」の募集ですが、基礎編の受講の有無にかかわらず、応募可能です。

(2) 講座内容とスケジュール（予定）

- ・ 講座は、令和7年5月から令和7年9月の5か月間、毎月1回、第3土曜日に開催します。（※8月はお盆のため、第4土曜日に開催します。）
- ・ 講義は1コマ90分で、1回の講座あたり3コマ、計5回の講座で15コマを行います。（※大学での2単位に相当します。）
- ・ 毎月の講座内容とスケジュールは、別表のとおりです。

(3) 講座の開催方法

- ・ 講義は、愛媛大学南予水産研究センター船越ステーション2階大会議室（愛媛県南宇和郡愛南町船越 1289-1）での対面形式と、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用しての非対面形式とのハイブリッド形式で行います。なお、県外在住の講師の先生など、都合により、講師がオンラインで参加する場合があります。
- ・ リアルタイムでの参加のほか、講義を収録した動画を YouTube チャンネルにて約 1 か月間、受講者に限定配信しますので、都合に合わせた受講が可能です。
- ・ 第 1 回講座の 1 限目は講演会方式で行うため、1 限目のみ、愛南町役場本庁 3 階大会議室（愛南町城辺甲 2420）で開催します。その際は、受講生以外の参加もあります。なお、この 1 限目は Zoom によるリアルタイム配信はないため、参加できない方は後日、YouTube による視聴となります。

(4) 修了要件と修了証明

- ・ 講義の 7 割以上の出席（11 コマ以上）と、受講した講義のレポートの提出で修了を認定し、「修了証」を発行します。
- ・ なお、出席確認は、レポートの提出をもって行いますので、講義を受講した場合は必ずレポートを提出してください。

5. 申込手続

講座の受講を希望される方は、下記により申込を行ってください。

(1) 申込期間

2025 年 3 月 7 日（金）から 4 月 7 日（月）まで

(2) 申込書類

「受講申込書」（別紙様式）に記入のうえ、以下のとおり提出してください。

※ 以下のサイトから、受講申込書をダウンロードすることもできます。

URL : <https://ccr.ehime-u.ac.jp/cnf/news/nansuiken-seminar-ouyou-2025/>

(3) 申込方法

- ・ 申込方法は、郵送のみとし、期間内に配達されたもの及び 4 月 8 日（火）以降に配達されたもののうち、4 月 7 日（月）以前の消印があるものを受け付けます。
- ・ 直接持参しても受理できませんので、ご注意ください。

(4) 提出先

《 郵 送 》 〒798-4292 愛媛県南宇和郡愛南町船越 1289-1
愛媛大学南予水産研究センター 事務室（電話 0895-82-1022）
《 F A X 》 0 8 9 5 - 8 2 - 1 0 2 6

(5) 注意事項

- ① 申込書類の記入にあたっては、誤りのないよう正確に記入してください。
- ② 申込後は、申込書類の記載内容の変更は認めません。また、申込書類は返却しま

せん。

- ③ 申込書類に虚偽の記載があった場合は、受講許可後であっても受講の許可を取り消すことがあります。
- ④ 申込後に住所等の変更があった場合は、速やかに愛媛大学南予水産研究センター事務室へ連絡して下さい。

6. 受講手続及び受講料

申込書類受付後、受講の許可を判断し、結果を郵送で通知します。受講を許可する場合は、受講許可の通知と併せて、受講手続の書類及び受講料払込票をお送りしますので、下記のとおり受講手続を行ってください。

(1) 受講手続期間

2025 年 4 月 14 日（月）から 4 月 25 日（金）まで

(2) 受講料

6,000 円（高校生及びリポート受講生※ は 3,000 円）

※リポート受講生とは、過去の応用編を受講された方（修了の有無は問いません）をいい、過去の基礎編のみ受講された方は除きます。

7. 個人情報の取り扱いについて

本センターでは、提出された申込書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本センターにおける申込みの事務処理に不備等があった場合の連絡、及び受講手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、申込書の不備等があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくため、申込みされること及び提出した申込書に不備があることを、申込者の自宅に連絡する場合があります。

また、同個人情報は、申込者の受講後に関する業務及び調査・研究（申込み動向の調査・分析等）を行う目的をもって本センターが管理します。

他の目的での利用及び本センターの関係教職員以外への提出は行いません。

◇ 本講座に関するお問い合わせ

愛媛大学南予水産研究センター 事務室

〒798-4292 愛媛県南宇和郡愛南町船越 1289-1

[電話] 0895-82-1022

[FAX] 0895-82-1026

[Email] suisanc@stu.ehime-u.ac.jp

※お問い合わせの際は、なるべくメールでお願いします。

※ その他

今回の「応用編・水産業と地域活性化」のほか、10月～2月には「基礎編・水産学概論」として、基礎的な水産学の講義の開講を予定しております。

《 部門別・講座内容一覧 》

【Ⅰ．水産学各論】

- 次世代育種システム
愛媛大学南予水産研究センター 教授 松原孝博
- 水産対象生物の生理・生態
愛媛大学南予水産研究センター 教授 高木基裕
- 養殖魚の味と高品質化 ―品質評価手法―
愛媛大学南予水産研究センター 准教授 斎藤大樹
- 赤潮の発生要因と被害防止への対応
愛媛大学南予水産研究センター 准教授 清水園子
- 魚病をめぐる現状と対策
愛媛大学南予水産研究センター 助教 竹内久登
- 海洋プラスチック研究の動向
愛媛大学大学院理工学研究科 教授 日向博文
愛媛大学沿岸環境科学研究センター (兼任)
愛媛大学南予水産研究センター (兼任)
- 底質汚染の視点で考える養殖環境
国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所 主任研究員 伊藤克敏
- 科学する真珠養殖
愛媛県水産研究センター 主任研究員 西川 智

【Ⅱ．地域活性化】

- 水産業を核とした地域活性化の事例
愛媛大学南予水産研究センター 教授 竹ノ内徳人
- 「ぎょしょく教育」をもとにした地域協働の可能性：シビックプライドの醸成と地域活性化
愛媛大学南予水産研究センター 顧問・教授 若林良和
- 持続性のある水産業の成長産業化と漁村の活性化～海洋環境の変化への対応、「海業」の振興～
水産庁漁政部漁政課 漁港漁場整備部計画・海業政策課海業調整官 岡田英明
- 海の恵みを活かす地域発展戦略
愛南町水産課 課長 山本正文
- 宇和海における外国人材について
愛媛県漁業協同組合宇和島事業部 次長 藤田知右
- 持続可能な水産業（定置網創業）と水産物の流通販売
与力水産株式会社 代表取締役 吉村典彦
- 水産業や地域振興におけるコンサルタントの役割
株式会社流通研究所 代表取締役 村上 充

◇ 講座の特徴

- ・ 講座は、水産学各論と地域活性化の大きく2つの分野としております。
- ・ 水産学各論では主に愛媛大学南予水産研究センターの教員が、地域活性化では主に外部の専門家が講義を行う予定です。

《別表》

毎月の講座内容とスケジュール（予定）

	《愛媛大学水産人材育成講座 一応用編・水産業と地域活性化一》
5月17日(土) 10:15～10:30 10:30～12:00 13:00～13:05 13:05～13:10 13:10～14:40 14:50～16:20	【第1回講座】 《講演会方式で実施：愛南町役場本庁3階大会議室》 ○ 開会挨拶 愛媛大学、愛南町 ① 持続性のある水産業の成長産業化と漁村の活性化 ～海洋環境の変化への対応、「海業」の振興～ 水産庁漁政部漁政課 漁港漁場整備部計画・海業政策課海業調整官 岡田英明 《講座方式で実施：愛媛大学南予水産研究センター船越ステーション2階大会議室》 ○ 開講挨拶 愛媛大学南予水産研究センター センター長 ○ 講座の概要説明 愛媛大学南予水産研究センター ② 水産対象生物の生理・生態 愛媛大学南予水産研究センター 教授 高木基裕 ③ 持続可能な水産業（定置網創業）と水産物の流通販売 与力水産株式会社 代表取締役 吉村典彦
6月21日(土) 10:30～12:00 13:00～14:30 14:50～16:20	【第2回講座】 ① 次世代育種システムー 愛媛大学南予水産研究センター 教授 松原孝博 ② 「ぎょしょく教育」をもとにした地域協働の可能性：シビックプライド の醸成と地域活性化 愛媛大学南予水産研究センター 顧問・教授 若林良和 ③ 魚病をめぐる現状と対策 愛媛大学南予水産研究センター 助教 竹内久登
7月19日(土) 10:30～12:00 13:00～14:30 14:50～16:20	【第3回講座】 ① 水産業や地域振興におけるコンサルタントの役割 株式会社流通研究所 代表取締役 村上 充 ② 科学する真珠養殖 愛媛県水産研究センター 主任研究員 西川 智 ③ 養殖魚の味と高品質化 ー品質評価手法ー 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 斎藤大樹
8月23日(土) 10:30～12:00 13:00～14:30 14:50～16:20	【第4回講座】 ① 底質汚染の視点で考える養殖環境 (国研)水産研究・教育機構 水産技術研究所 主任研究員 伊藤克敏 ② 赤潮の発生要因と被害防止への対応 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 清水園子 ③ 海の恵みを活かす地域発展戦略 愛南町水産課 課長 山本正文
9月20日(土) 10:30～12:00 13:00～14:30 14:50～16:20	【第5回講座】 ① 海洋プラスチック研究の動向 愛媛大学大学院理工学研究科 教授 日向博文 愛媛大学沿岸環境科学研究センター (兼任) 愛媛大学南予水産研究センター (兼任) ② 宇和海における外国人材について 愛媛県漁業協同組合宇和島事業部 次長 藤田知右 ③ 水産業を核とした地域活性化の事例 愛媛大学南予水産研究センター 教授 竹ノ内徳人

※ 都合により、講義の順番が変更される場合があります。

愛媛大学水産人材育成講座 一応用編・水産業と地域活性化―
受講申込書

受付番号

※受付番号は記入しないでください。

フリガナ			生年月日	昭和・平成 年 月 日
氏 名			性 別	男 ・ 女
住所 〒				
電話番号 (自宅等)	() —	電話番号 (携帯)	() —	
Eメール				
職 歴 (書き切れない場合は別添)				
年・月	勤務先・部署名・役職等			
学 歴 (書き切れない場合は別添)				
年・月	学校名・課程名等			
申込理由				
リピート受講の 有無 (有・無)	平成 年度受講 / 令和 年度受講 ※過去に受講した年度をご記入ください。 覚えていない場合は未記入でも構いません。			